

自動車の運転意向と 運転が困難になった場合の主な移動手段等

運転免許証と自動車を持っている方は69.4%を占め、そのうちの82.7%が運転したいと回答しています。また、80～84歳まで運転したい方は20.1%で、自動車への依存が高くなっています。

運転が困難になった場合には、バスを利用すると回答した方の割合が高く、次いで外出支援サービスや家族や知り合いの送迎の順です。一方で、送迎に対して気兼ねすると回答した方は68%と多く、今後、公共交通が重要な役割を果たすことが期待されています。

運転免許・自動車保有状況	
免許も自動車も持っている	69.4%
免許も自動車も持っているが免許返納を考えている	3.3%
免許はあるが自動車はない	1.5%
免許返納した	9.6%
免許を持ったことがない	16.2%

運転意向		年齢別	
〇〇歳頃まで運転したい	47.1%	70～74歳	1.4%
出来る限り運転したい	35.6%	75～79歳	12.1%
今すぐにもやめたい (免許返納したい)	1.7%	80～84歳	20.1%
わからない	10.7%	85～90歳	10.4%
その他	4.8%	90～95歳	0.3%

運転が困難になった場合の主な移動手段等			
徒歩・自転車	9.3%	外出支援サービス	23.0%
バス	31.5%	家族や知り合いの送迎	23.7%
JR	0.7%	町内の便利なところに引っ越す	0.7%
ハイヤー	5.2%	町外の便利なところに引っ越す	2.2%
その他	2.2%	外出を控える	1.5%

送迎してもらうことに気兼ねするか	
する	30.5%
ややする	37.5%
どちらともいえない	12.5%
あまりしない	8.6%
しない	10.9%

公共交通 に関する 基礎調査結果

町では、将来の公共交通のあるべき姿と、それを実現するための方針および具体的な施策を取りまとめるため、地域公共交通計画の策定を進めています。計画の策定にあたり、町民の皆さんにご協力いただいたアンケートの主な項目について、結果をお知らせします。

回収状況	実施方法	実施期間	対象者
401人(回収率59.5%)	郵送配布、郵送回収	配布 回答期限 令和2年9月25日(金) 令和2年10月16日(金)	65歳以上の町民の方から抽出した674人

まちづくり推進課
企画調整グループ
☎27-3179

ひとのうごき

令和3年7月31日現在 ()内は前月比

人 □ 4,416人 (±0)
男 2,208人 女 2,208人

世帯数 2,123世帯 (+2)

7月1日～31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

facebook <フェイスブック>
お知らせやイベント情報を
発信しています。
<https://www.facebook.com/atsumatownhokkaido>

LINE LINE <ライン>
災害時の緊急情報、支援情報、町政情報などを
配信しています。

※LINEアプリから友だち追加してください

・IDで追加 @atsuma

・QRコードで追加 

「広報あつま」はホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.atsuma.lg.jp/office/>

広報あつまの電子書籍はこちらから。
www.hokkaido-books.jp
北海道内のすべてがそろった「電子書籍」ポータルサイト「ホッカイドウ イーブックス」
Hokkaido e-books
ホッカイドウ イーブックス実行委員会(株式会社 須田製版 内) Tel.011-621-1000(代表)

広報あつま

2021年 8月号
令和3年

もくじ
CONTENTS

- 2 ひとのうごき
- 3-5 公共交通に関する基礎調査結果
- 6 役場の新しい顔
- 7-9 お知らせ
- 10 新型コロナウイルス感染症に関する支援情報
- 11 防災のページ
- 12-13 まちの話題
- 14 厚高インフォメーション/短歌
将来の夢&目標
- 15 厚真町地域おこし協力隊/法務局メモ
- 16-17 保健の掲示板
- 18 健康情報
- 19 子育て支援センター
野菜アッププロジェクト/まちのアイドル
- 20-21 情報ひろば
- 22 ATSUMA LOVERS

※広報担当が取材した記事は、写真撮影時のみマスクを外しています。

今月の表紙 COVER



町内のハスカップ狩りが、7月上旬にピークを迎えました。町放課後子ども教室特別教室の児童など26人が7月10日、朝日地区の農園を訪ね、木によって味が異なるハスカップの実を食べ比べました。

自由記述（一部抜粋）

- ・町外の医療機関の受診が困難である
- ・できる限り運転したいが、家族の反対もある
- ・町内に歩行者や車椅子で生活している方が居ることも考えて検討してほしい
- ・高齢者の移動時の負担を少なくする配慮が必要
- ・免許を返納するには、自家用車がなくても生活ができる環境が必要だと思う
- ・路線バスの便数を増やしてほしい
- ・千歳や札幌に行くのが不便なので、公共交通を充実してほしい
- ・乗合タクシーなどでむかわ町まで行けると良い
- ・めぐるくんの便数を増やしてほしい
- ・めぐるくんの車両を小型化すれば経費の節約につながると思う
- ・めぐるくんの利用に慣れてもらうことも重要
- ・めぐるくんの運行は100円では安すぎると思う
- ・めぐるくんは多少の不便であるが、それを理解して上手に利用したいと思う
- ・めぐるくんは、65歳以上0円が望ましい
- ・住民協力型サービスでは、運転手の負担をなくすような工夫が必要
- ・住民協力などで乗車させてもらった時に協力者へのポイントなどあれば協力してもらえと思う

将来にわたって公共交通を維持するため みなさんで積極的に利用しましょう

○デマンド交通「めぐるくん」

6月1日から、これまでよりも便利に運行しています。
電話で簡単に予約でき、自宅前から町内の目的地の前までご利用いただけます。



めぐるくん

北部地区線

〔運行区域〕
幌内・高丘・富里・吉野
桜丘・幌里・朝日・東和
宇隆・厚真市街地

	1便	2便	3便	4便
北部地区	8:30	—	—	—
厚真市街地	9:00	11:00	13:30	15:30
北部地区	9:45	11:45	14:15	16:15
厚真市街地	10:30	12:30	15:00	16:30
予約の締切	前日19:00	当日10:00	当日12:30	当日14:30

市街地線

〔運行区域〕
京町・表町・錦町・本町・新町・本郷・ルーラル・フォーラム

運行時間	9:00~16:00
予約の締切	15:30

めぐるくんの利用には、利用者登録と予約が必要です。

利用者登録（初回のみ）

厚真町まちづくり推進課 ☎27-3179

利用予約

予約受付センター（あつまバス） ☎29-7710
（受付時間8:00~19:00）

○路線バス

あつまバスと道南バスの2社が運行しています。町内だけでなく近隣市町に移動する広域公共交通として、みなさんの生活を支える重要な役割を担っています。



あつまバス



道南バス

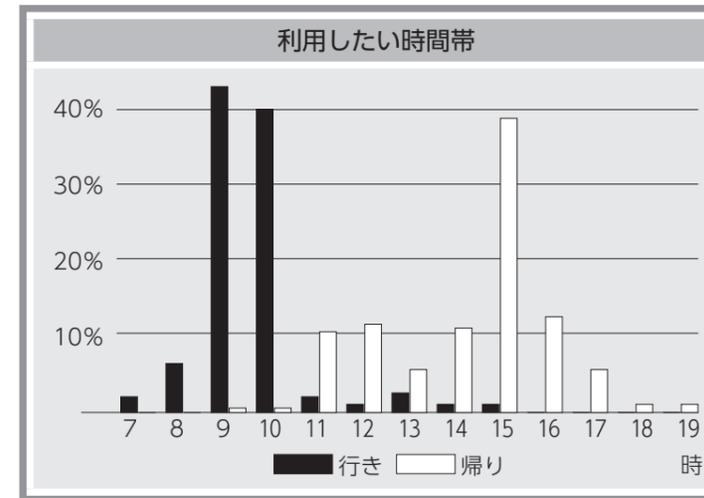
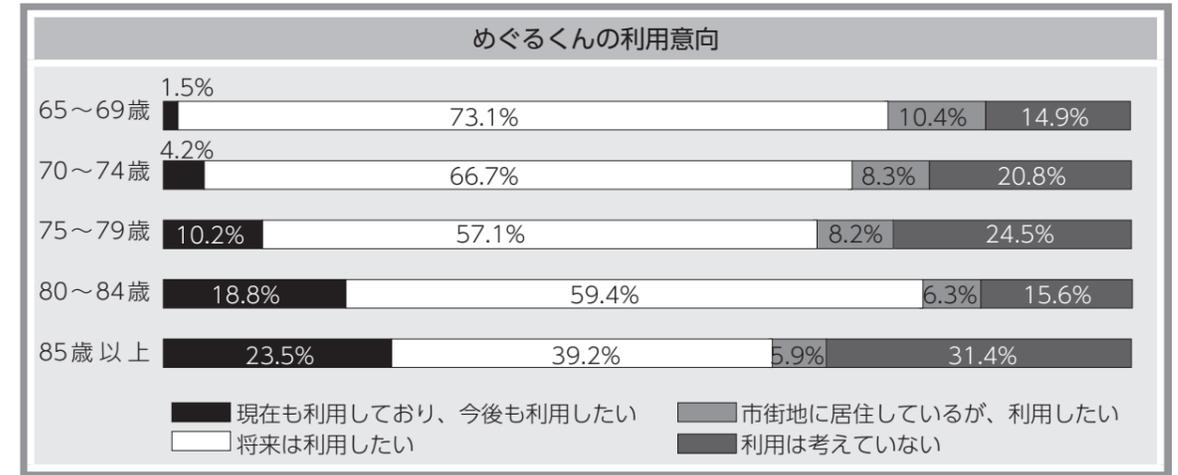
めぐるくんや路線バス、その他の公共交通機関の運行の詳細は、令和3年5月配布の「厚真町地域公共交通ガイドブック（令和3年6月1日現在）」をご覧ください。ご不明な点などお気軽にご相談ください。

デマンド交通「めぐるくん」の利用について

世代別の結果は、次のとおりです。全体では、めぐるくんを、「現在も利用しており、今後も利用したい」は10.8%、「将来は利用したい」60.8%、「市街地に居住しているが、利用したい」は8.1%となり、全体の79.7%の方に利用意向がありました。
利用したい時間帯は、行きが「9時台」と「10時台」、

帰りは「15時台」に集中しています。また、帰りの11時台から16時台も高くなっています。

利用しない理由として、「自家用車に乗れる」が最も多い回答でしたが、利用の仕方が分かりにくい、希望時間帯に乗車できない、行きたい目的地に行けないという回答も多くありました。



利用しない理由

今は自家用車に乗れる	15.8%
利用の仕方がわかりにくい	13.6%
希望時間帯に乗車できない	12.2%
市街地で利用できない	9.7%
他の交通機関との接続が悪い	9.7%
行きたい目的地に行けない	6.5%

※回答が多かったもの

町外の移動について

よく行く市町村は、「苫小牧市」(55.2%)が高く、次いで「むかわ町」(15.9%)、「千歳市」(13.9%)の順になっています。

交通手段は、約7割の方が自家用車を利用しています。一方で、公共交通も利用されており、広域交通手段として維持・確保することが求められています。

町外へ出かけるときの交通手段	
あつまバス	14.1%
道南バス	2.9%
JR	2.5%
タクシー	1.2%
自分の運転	45.3%
家族の送迎	24.6%
家族以外の送迎	3.3%

町外によく行く市町村	
苫小牧市	55.2%
千歳市	13.9%
安平町	8.4%
むかわ町	15.9%
その他	6.6%